

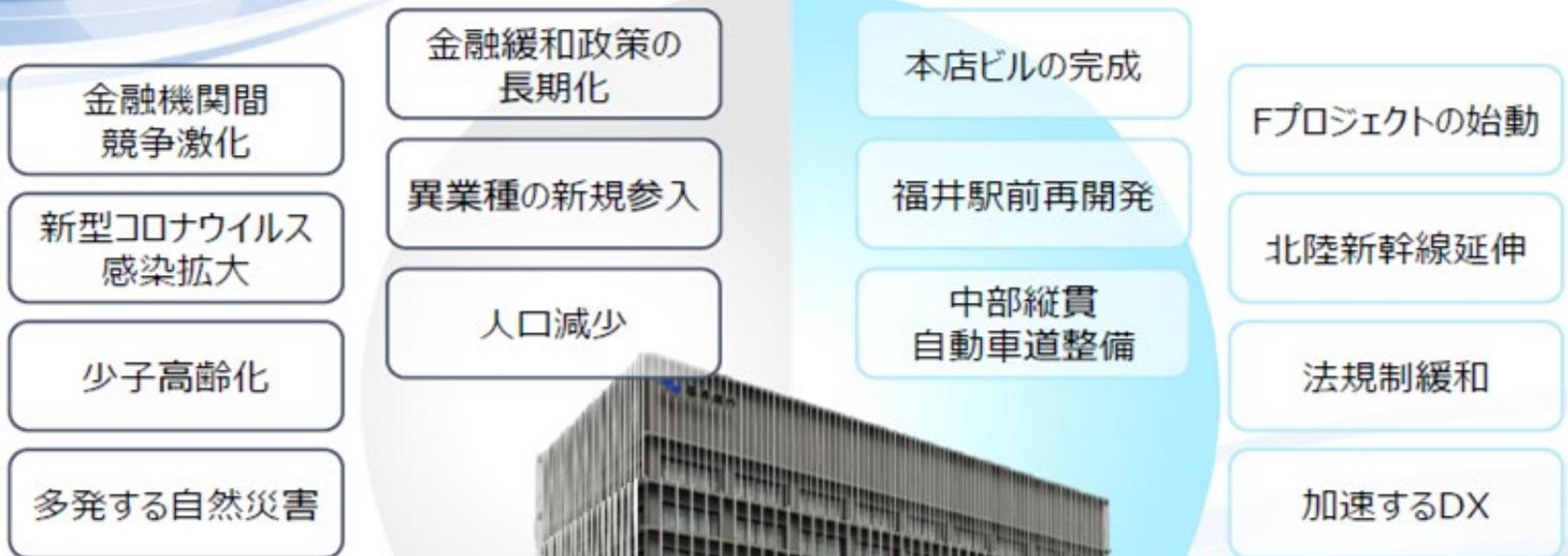
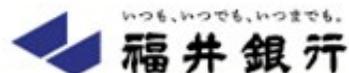
観光DX推進を通じた 福井県における稼ぐ観光の実現に向けて

2023.9.21



ふくいヒトモノデザイン株式会社

当行グループを取り巻く環境（イメージ図）



急激かつ深刻な環境変化に晒されているものの

地域とともに飛躍するための数多くの機会を有している

地域創生とは

まちを創る

- PPP/PFI
- 中心市街地活性化
- 空き家・空き店舗
- 都市・生活・行政機能の再生

しごとを作る

地域産業・企業の育成発展

- ①新分野展開・産業化
- ②農林水産業・6次化
- ③伝統産業の活性化
- ④スタートアップ、IPO など

ひとを増やす

人口増加
雇用拡大

飛躍するための機会「高速交通網の整備」

＜出典元：福井県「ふくい観光ビジョン令和2年3月」＞

【北陸新幹線敦賀開業による移動時間短縮】 福井～東京間が約2:50に!!



【中部縦貫道県内区間開通後の各都市間の所要時間等】

	現在	開通後	効果
大野⇒名古屋 (東海北陸道経由)	2 : 30	2 : 10	△20分

※開通前は国道158号線利用
※高山方面からも同様の時間短縮効果が期待

【冠山峠道路開通後の各都市間の所要時間等】

	現在	開通後	効果
池田町 ⇄ 揖斐川町	2 : 15	1 : 25	△50分

※開通前は北陸自動車道、名神高速道路利用

- 北陸新幹線が令和6年（2024年）春に敦賀まで開業、県内には4つの駅が新設。
- 新幹線開業により福井・東京間の所要時間は約30分短縮され、乗り換えも不要。
- 自動車道の全線開通により、中京圏をはじめ各地域とのアクセスが向上。

⇒ 高速交通網の整備により、**さまざまなビジネスチャンスが期待できる！**

Fプロジェクト vision2032 (長期ビジョン)

チャレンジゴール

職員、お客さま、地域のチャレンジに伴走した先に、
4つのゴールを目指します。



ウェルビーイングを実感する
職員の比率

100%

1人あたりの福井県民所得*

+100万円

福井県活力人口*

100万人

連結当期純利益

100億円

* 県民所得:個人や企業の所得を控す県民経済全体の所得のこと * 活力人口:「福井県長期ビジョン」で基本目標に掲げる人口の考え方。交流人口・関係人口を定住人口に換算し、定住人口と足し合わせた人数のこと 2-10

Fプロジェクトvision2032において、地域やお客さまのチャレンジに伴走した先の、チャレンジゴールを定めています。

「地域価値循環モデル」

生み出された価値が
新たなチャレンジに循環

【地域のチャレンジに伴走】
活力にあふれた地域の実現

CHALLENGE

CHALLENGE

CHALLENGE

【お客さまのチャレンジに伴走】
事業成長や資産形成の実現

【職員のチャレンジに伴走】
ウェルビーイングの実現

観光地域商社の事業を通じて、お客さまの事業の事業成長や活力にあふれた地域を実現し、生み出された価値が新たなチャレンジに循環する、地域価値循環モデルの実現を目指していきます。

Fプロジェクト
Future for Fukui &
Fukuibank & Fukuhobank



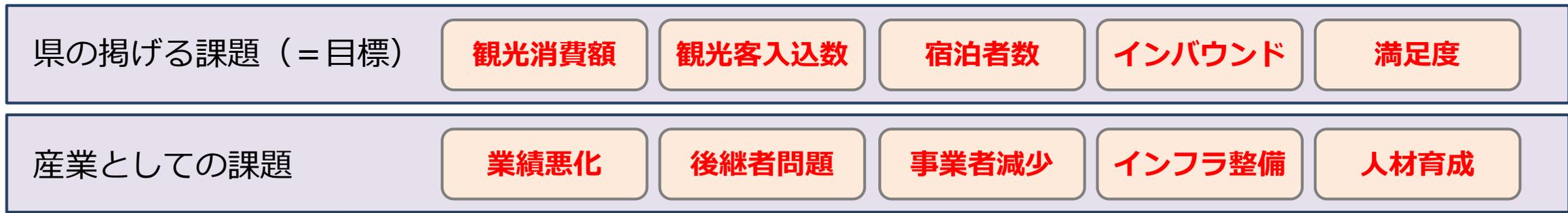
いつも、いつでも、いつまでも。
福井銀行



ゆめBANK
福邦銀行



地域商社の設立の目的



地域商社 *F*プロジェクト Future for Fukui Fukuibank&Fukuhobank

(1) 観光事業
地域の各観光資源を磨き上げ、組み合わせ、差別化された**高付加価値観光商品**として造成し、国内外の旅行者向けに販売を行う。

(2) 物販事業
地域の事業者の各地場産品を磨き上げ、**価値を高め**、地域商社が持つネットワークを通じて販売を行う。

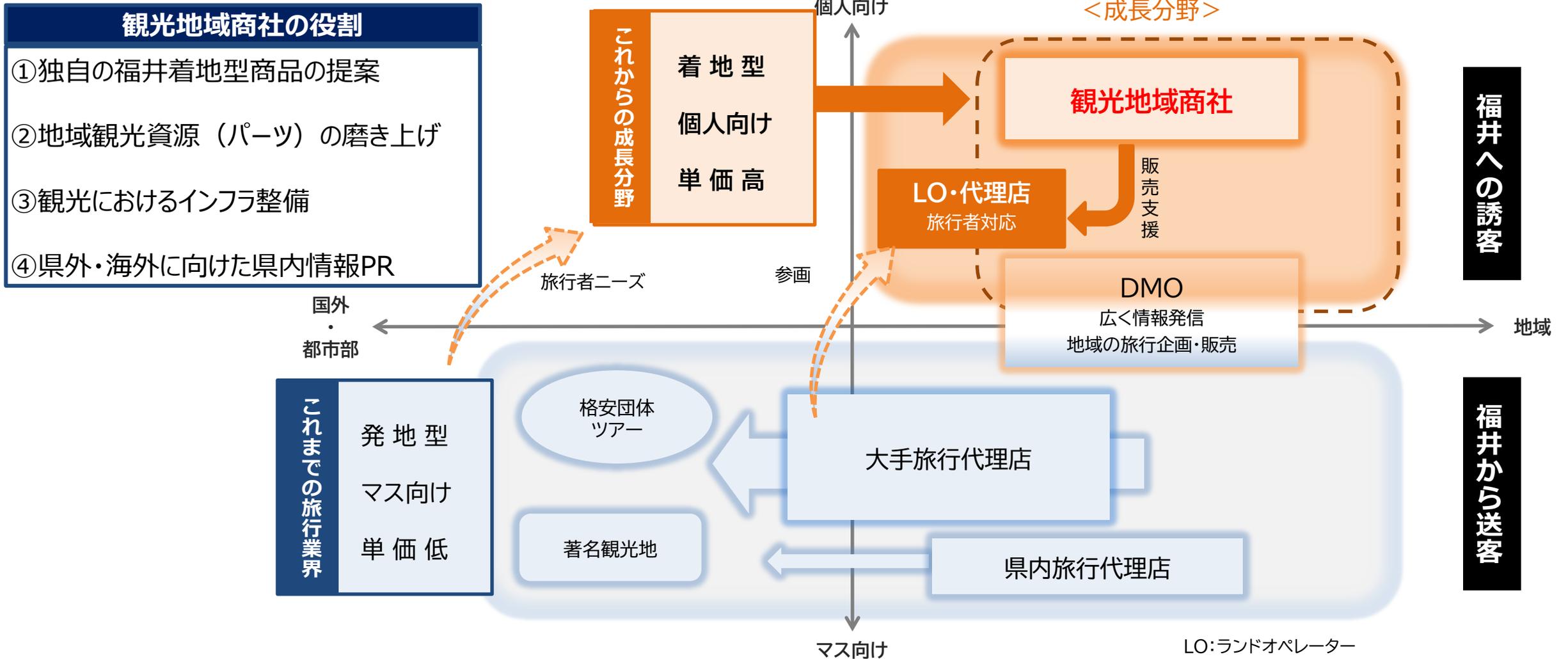
ターゲット 地域の歴史・文化・自然・街並み・ひと・食・伝統・産業などのあらゆる価値を認識し、共感・共有してもらえる人

活力人口の増加
地域内総生産の増加
地域経済の活性化

会社名	ふくいヒトモノデザイン株式会社（略称：hmデザイン） 代表取締役 小畑 善敬
本社所在地	福井県福井市順化1丁目1番1号（福井銀行本店）
資本金	90,000千円
株主	福井銀行（100%） 他業銀行業高度化等会社
設立	2022年7月28日
事業内容	・旅行商品企画、販売などの観光事業 ・地場製品のプロモーションや販売などの物販事業
取扱商品	観光商品、地域産品
社員数 （実働部隊）	<設立時> 常勤役員1名 従業員：5名（福井銀行出向者 4名、福井市役所派遣出向者 1名）

観光事業の考え方

県内の観光事業者の方と協力して着地型観光を推進し、県内での観光消費額の増加につなげるとともに、県内観光産業への新規参入事業者のご支援や既存事業者のご支援を通じて、**県内観光産業の成長**に貢献いたします。

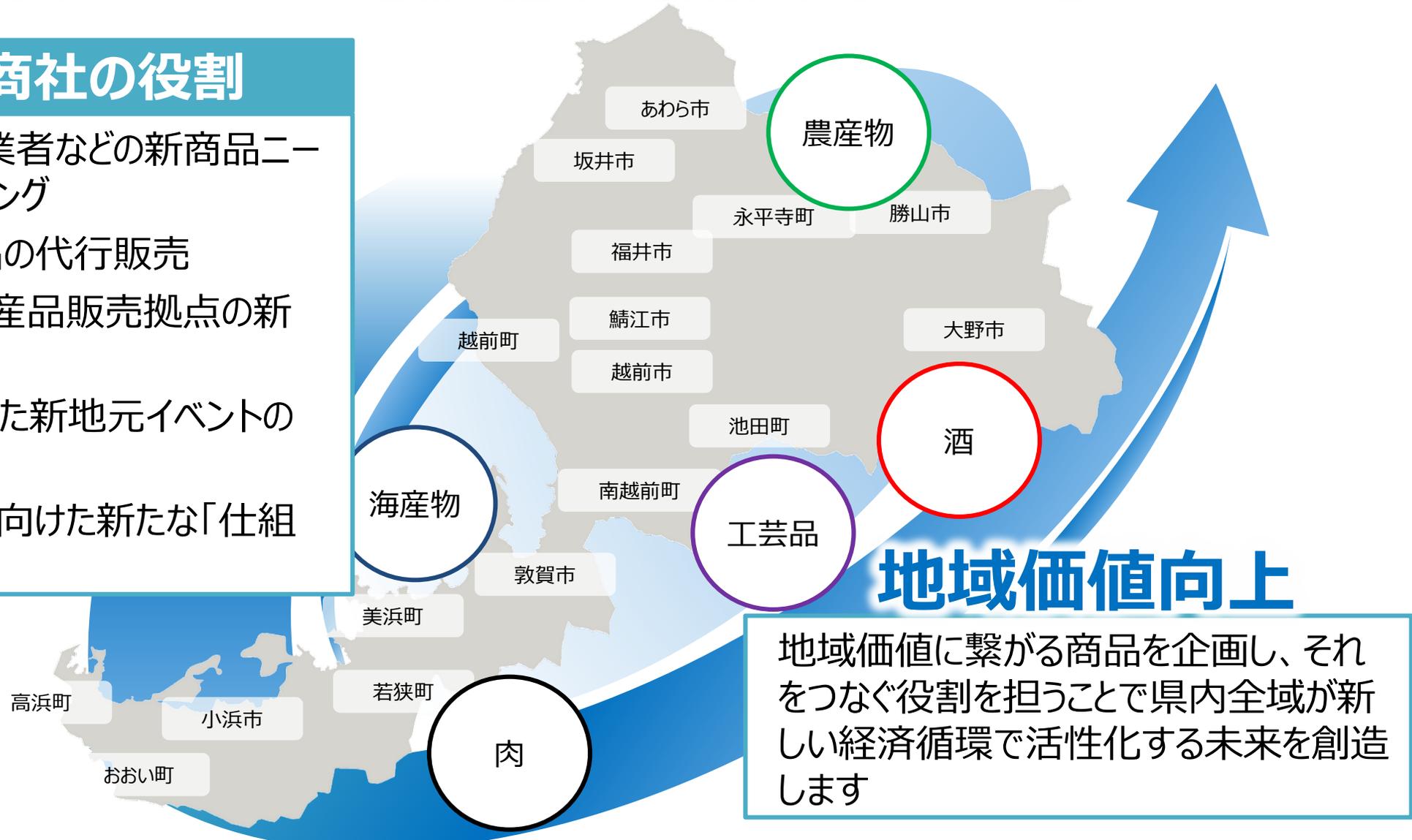


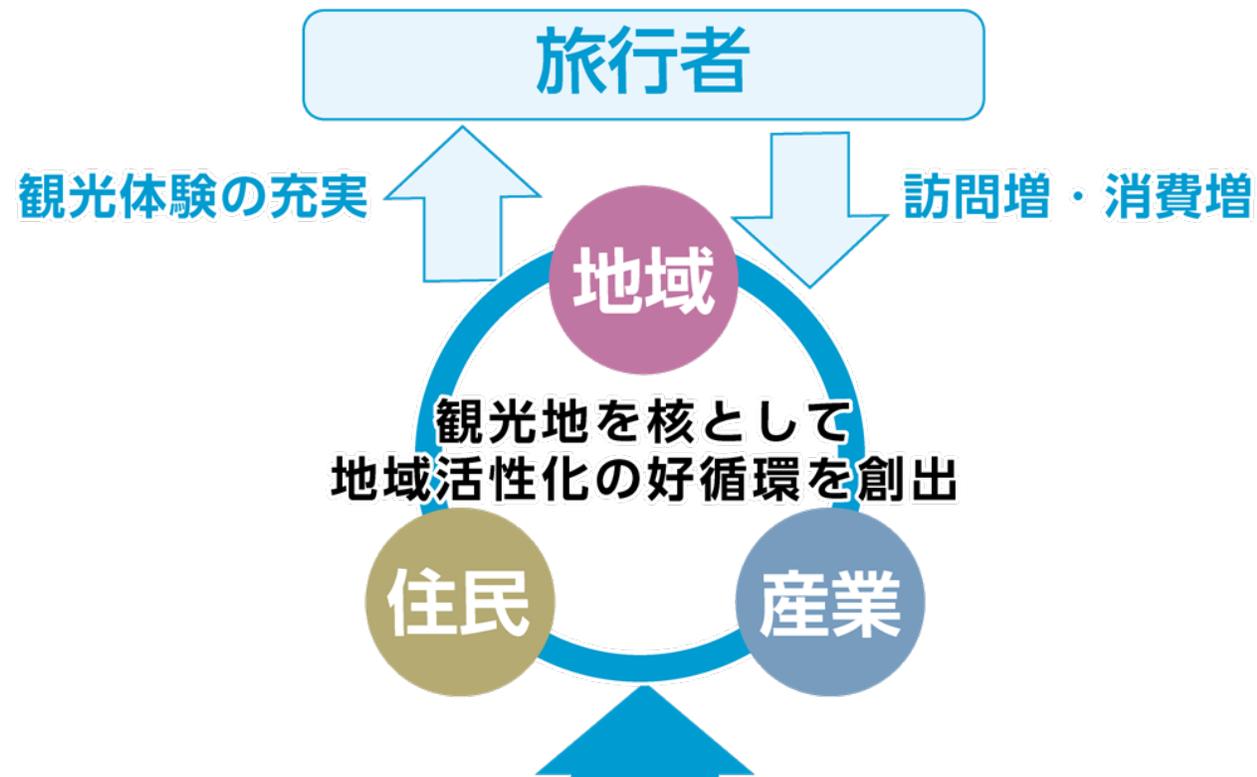
県内において着地型・個人向け・高単価商品の企画販売（B to B、B to C）、地域の観光事業者のコンサルや銀行と連携した支援。

県内の1次生産者の方と協力して既存地産品をブラッシュアップし、県内外での販売消費額の増加につなげるとともに、ニーズのある新商品の企画やこれまでになかった販売拠点の新設など、**県内物販産業の成長**に貢献いたします。

観光地域商社の役割

- ① 道の駅・県外事業者などの新商品ニーズを事業者マッチング
- ② 地元企業新商品の代行販売
- ③ これまでにない地産品販売拠点の新設
- ④ 地産品PRに向けた新地元イベントの企画、運営
- ⑤ 地元産品消費に向けた新たな「仕組み」づくり





旅行者の利便性向上周遊促進

- ウェブサイトやOTA等による情報発信、地域サイトの構築による利便性向上・消費拡大
- TPOに応じたレコメンドの提供による周遊促進・消費拡大

観光産業の生産性向上

- PMSの導入による情報管理の高度化、経営資源の適正な配分
- PMSやOTA等で扱うデータの仕様統一化
- レベニューマネジメントの実施、収益向上

観光地経営の高度化

- DXを盛り込んだ観光地経営の戦略策定
- CRMによる再来訪促進、消費拡大
- ODMPの活用による誘客促進・消費拡大

観光デジタル人材の育成・活用

- 産学連携によるリカレント教育の推進
- 観光デジタル人材の育成・活用支援

観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業

観光データ連携機能構築による 観光事業者の収益向上に向けた実証事業 成果報告会

福井県観光DX推進コンソーシアム

<コンソーシアム企業>

ふくいヒトモノデザイン株式会社
公益社団法人福井県観光連盟
Code for FUKUI
合同会社basicmath
合同会社ツギ
一般社団法人SOE
株式会社福井新聞社
株式会社ふくいのデジタル
株式会社福井銀行

<サポート企業>

紀尾井町戦略研究所株式会社：ポリシーコンサルティング
株式会社クラフトパートナーズ：事務局支援
株式会社ラストワンマイル：オペレーションディレクター

観光庁

「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業

「観光データ連携機能構築による
観光事業者の収益向上に向けた実証事業」について

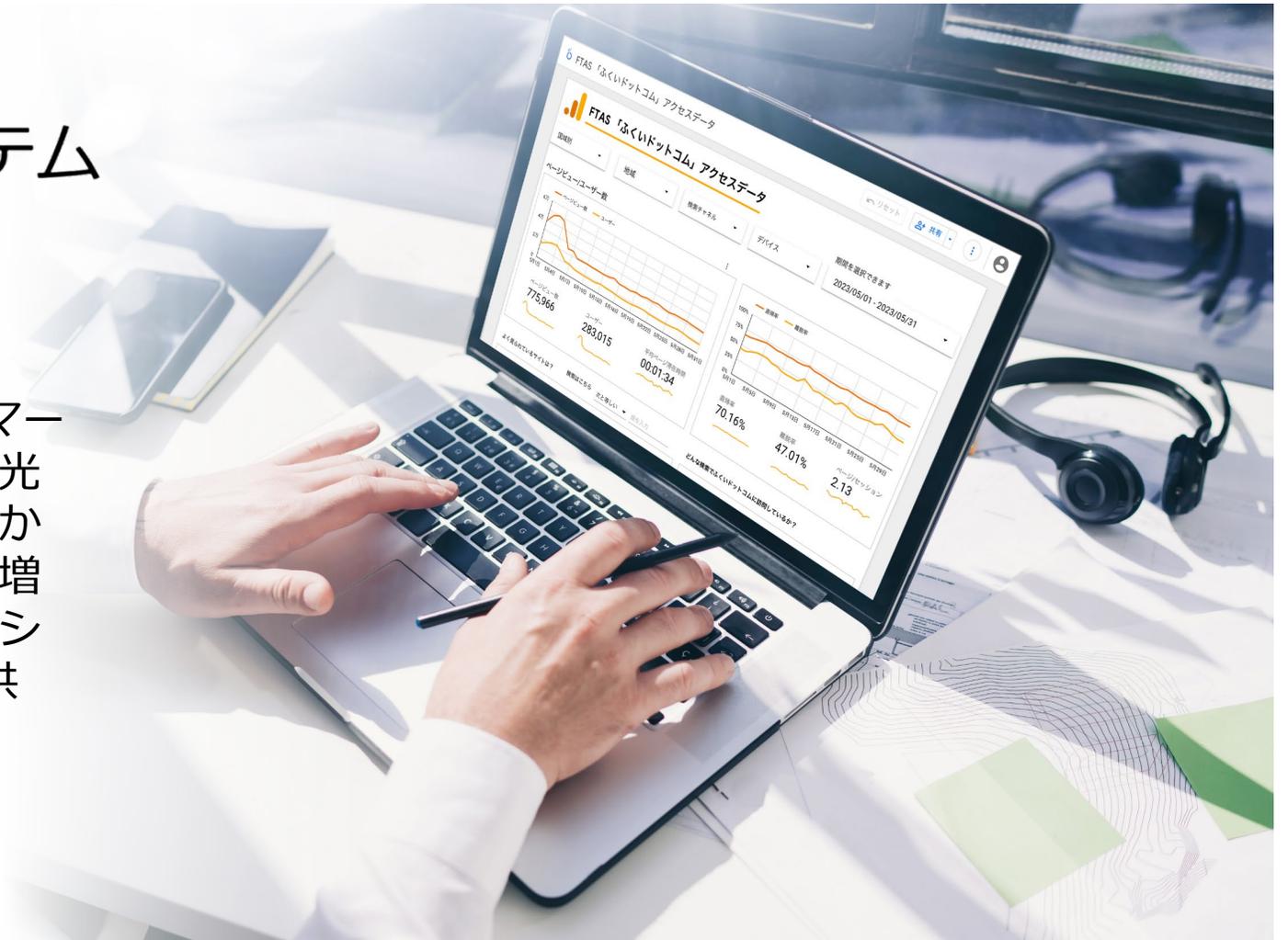
R4年度 実証事業概要

ポイント	2年後の北陸新幹線に向けて、データを活用しながら 県内各地に「キャッシュポイント」「集客ポイント」をつくり、「稼ぐ観光」を目指す			
課題	観光の実態が見えない、マーケティングデータが乏しく、勘に頼った商品開発や政策、事業展開がなされている。また、様々な観光施策や観光プロモーションの効果や結果が見えにくい状況にあるため、PDCAを回しづらい環境にある。			
目的	<p>良いも悪いもデータで観光実態の見える化することで</p> <ul style="list-style-type: none"> → キャッシュポイントとしての観光プレイヤーの新規商品やサービス開発と磨き上げ促進 → 集客ポイント整備や磨き上げなど観光政策立案を促進 → 将来的には、需要予測提供によるロス削減での観光プレイヤーの収益効率向上 			
KGI	年間観光消費額 1,700億円(2024年)			
KPI	項目	2022年度	2023年度	2024年度
	キャッシュポイント開発や磨き上げ数	10	20	20
	集客ポイントの開発や磨き上げ数	10	10	10
	地域DMO（候補法人含む）設立	2	2	2
実証事業の概要	<p>観光にまつわる多種多様なデータを収集し、データ連携させた上で、様々な角度でデータ分析が可能なDMPを構築することで、行政の観光政策立案や集客ポイント開発をサポートするとともに、観光プレイヤーのキャッシュポイントとしての新規商品開発や既存コンテンツの磨き上げの他、プロモーション戦略立案や効果検証をサポートする。将来的には、AI技術なども活用して需要予測も可能なDMPを目指し、観光プレイヤーの収益性向上に貢献していく。</p> <p>現状、Googleデータポータル（無料）を活用して、一部、観光に関連するデータの公開を行っているが、今後の拡張性を考慮して、世界中のシビックテックの力も活用しながら、小さく生んで大きく育てるDMPのシステムを構築を目指す。今回は、APIによる様々なデータ収集を行い、データ連携機能によりデータ価値を高めながら、DMPの実用性を実証していく。DMPでは、県域で展開するキャンペーンを数値的に可視化して、新たな観光スポットの発掘や既存観光地の磨き上げを行う。また、日本最大級のオープンファクトリーイベント「RENEW」を舞台に、様々な観光関連データの収集を行いDMPで可視化し、キャッシュポイント造成のモデルケース化を行う。DMPはできる限りオープンデータ化し、オープンソースでの開発を目指すことにより、技術やノウハウの水平展開して、他の都道府県での観光分析の推進にも貢献していく。</p>			

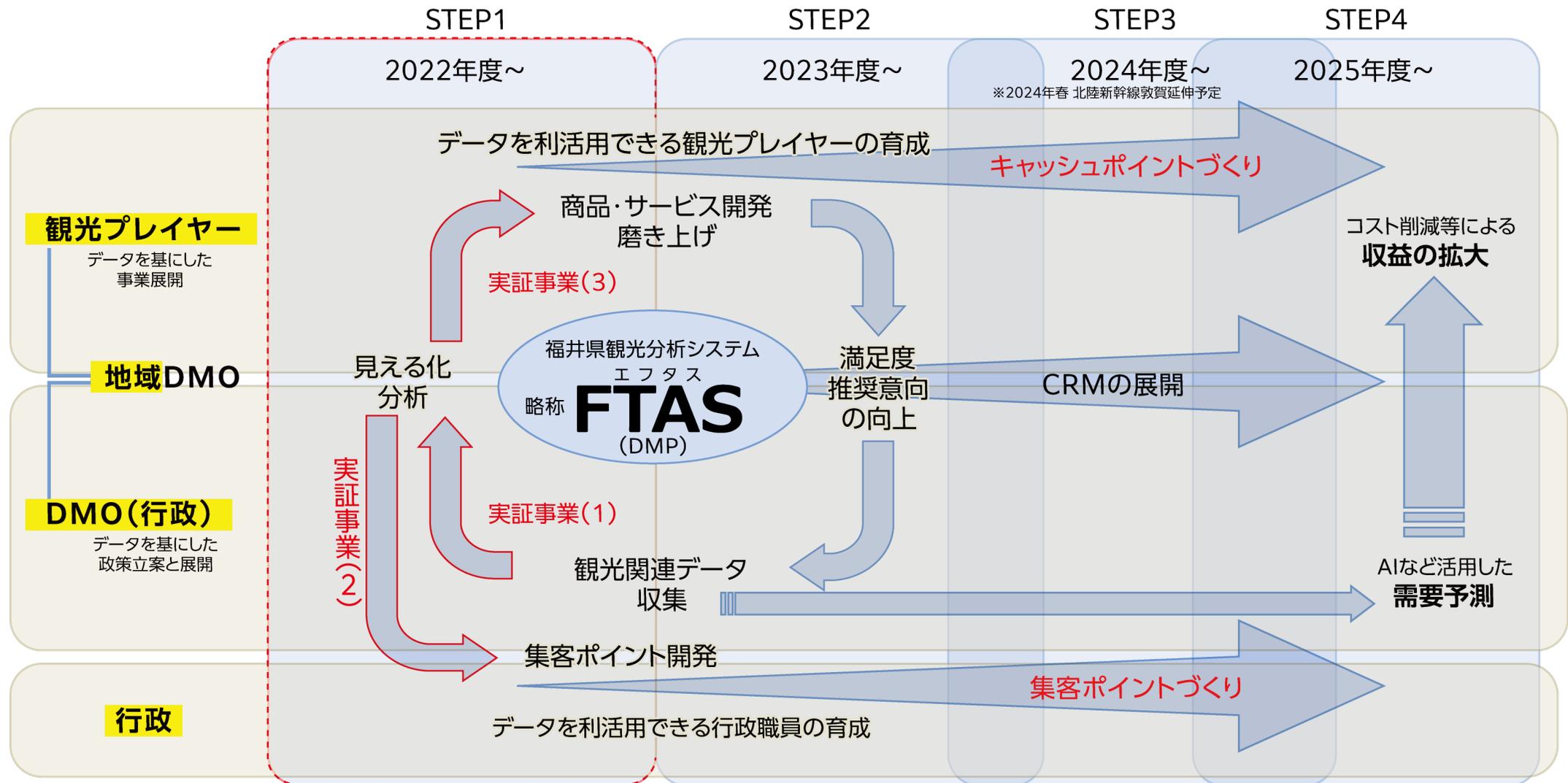
福井県観光データ分析システム「FTAS（エフタス）」について

福井県観光データ分析システム 「FTAS（エフタス）」 (FUKUI Tourism data Analyzing System)

(公社) 福井県観光連盟では、各種の観光マーケティングデータの提供を通して県内の観光サービスの向上や商品開発、観光施策に生かし、観光客の満足度の向上や観光消費額の増加につなげるべく、福井県観光データ分析システム「FTAS（エフタス）」の整備と提供サービスの充実を進めています。



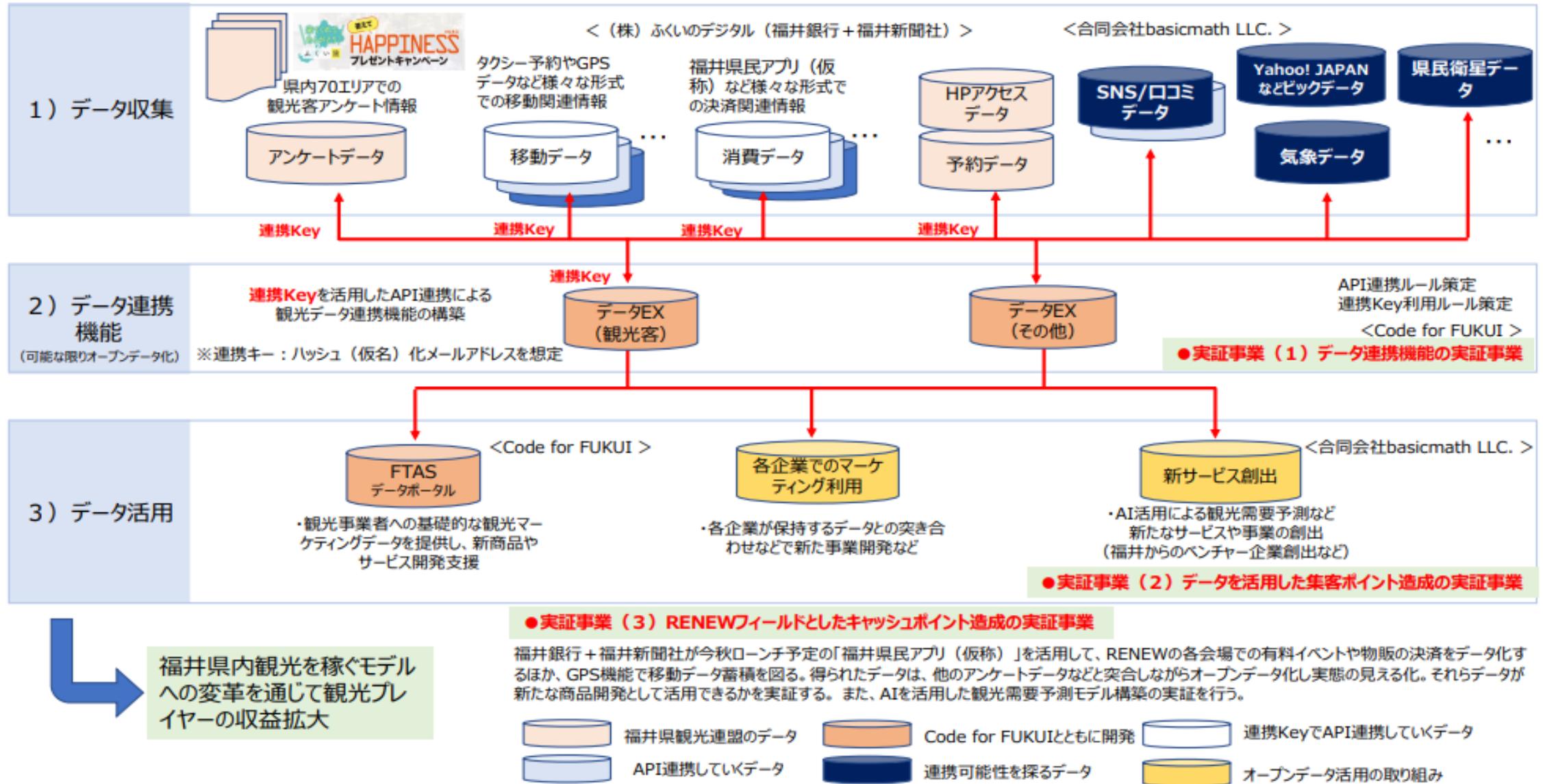
データ活用による「稼ぐ観光」の中長期展開イメージ



- 実証事業(1): データ連携機能の実証事業
- 実証事業(2): データを活用した集客ポイント造成の実証事業
- 実証事業(3): RENEWフィールドにおけるキャッシュポイント造成の実証事業

(出典元) 「観光DX」成果報告会「Next Tourism Summit 2023」(2023年3月8日)
発表資料「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証実験」(p7)

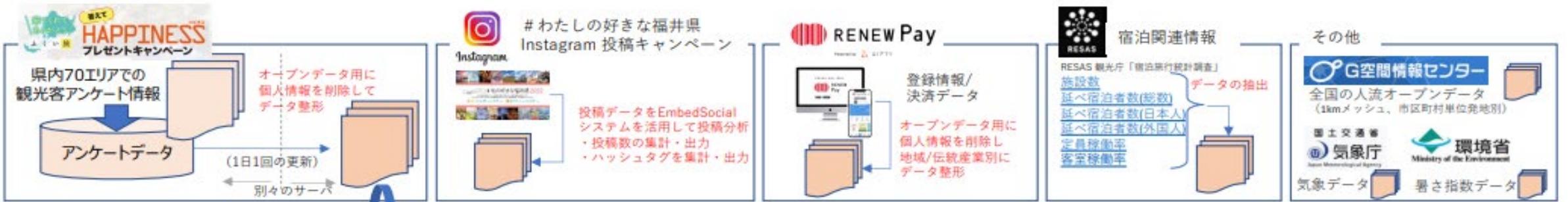
観光データ収集と連携機能、データ活用のためのシステム構築（イメージ図）



（出典元）令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料）

実証事業①データの収集とオープンデータ化- 1

<データの収集>



<オープンデータ化>

1日1回データクローリングしてデータの最新化



(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

データの突合 (RENEWPAY + アンケートデータ)

<データ突合のための検討委員会>

10/28, 11/2, 11/18, 11/22, 12/9, 12/27
全7回実施



論点① (個人情報以外)

1. 企業が持つデータセットのオープンデータ化について
2. オープンデータを突合する事について
3. 突合したデータを更に公開することについて

論点② ※論点①に(匿名化処理)個人情報がついている場合

1. 企業が持つデータセットのオープンデータに(匿名化処理)個人情報が付随する場合について
2. (匿名化処理)個人情報で2つ以上のオープンデータを突合する事について
3. それら突合したデータを更に公開することについて
4. 突合したデータを、企業が持つ個人情報に照らし合わせて個人を特定できることについて
5. メールアドレスを大量に持っている企業ほど優位

論点③

1. ハッシュ化プログラムの公開について
 - 趣意を持った利用者としてやすように申し込み制とする
 - ハッシュ化プログラムに、個別の認証キーを仕込む
 - ハッシュ化されたデータを突合できる者を限定する?
2. ハッシュ化プログラム利用を申込制とした場合に、申請先をどこにするのか
3. ハッシュ化プログラム利用(突合可能)者の範囲について
 - 預け届内に限定、全国発祥の大手はNG or データ提供必須の縛りを設けるなど
4. ハッシュ化プログラム利用規約の内容、突合の利用目的の範囲

ハッシュ化プログラム運用ルール策定
利用者の制限

ハッシュ化プログラム利用規約の制定
突合データで個人を特定することを禁止

<3段階の障壁と解決策>

データの収集段階

1. データ収集
課題: データ活用範囲許諾の壁

オープンデータ化を前提とした
事前の規約の同意

データの公開段階

2. データ提供 (1)
課題: 企業等のビジネス的観点の壁

自社でより高度なマーケティングデータ生成や
広告商品生成などが可能になることへの理解

3. データ公開 (2)

※(匿名化処理)個人情報がついている場合
課題: 企業等のセキュリティポリシーや
ルールの壁

ハッシュ化プログラムの利用範囲の限定
ハッシュ化プログラムの利用規約の同意

データの突合段階

4. データ突合
課題: ハッシュ化プログラム活用の壁
※(匿名化処理)個人情報がついている場合

ハッシュ化プログラムの利用範囲の限定
ハッシュ化プログラムの利用規約の同意

5. 突合データ公開
課題: 公開データで、個人特定をさせない壁

ハッシュ化プログラムの利用範囲の限定
ハッシュ化プログラムの利用規約の同意

<データ突合>

今回はコンソーシアムの協定と相互の信頼関係をベースに
実証事業ということで、データの突合を実施

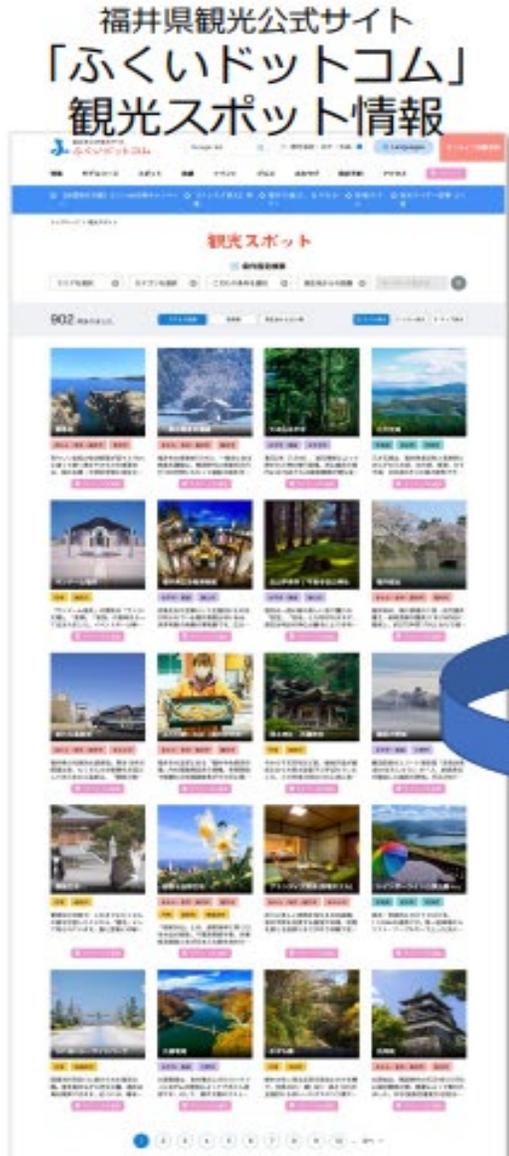


突合したデータ

- ・過去にどんな場所に行ったことがあるが分かる
- ・旅の目的や旅行形態などから、より詳細な嗜好を探れる可能性あり
- ・決済ユーザーの移動が可視化できる可能性がある

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

Cord for FUKUI による 観光スポット情報のオープンデータ化



CSVとJSON-LDのデータとして活用可能なように整理して
Github上にオープンデータ化

<https://github.com/code4fukui/fukui-spot>

code4fukui/fukui-spot

ふくいドットコム スポット一覧

日本語版

Fukui Spots in English (src: ENJOY FUKUI)

Fukui Spots in Simplified Chinese (src: ENJOY FUKUI)

Fukui Spots in Traditional Chinese (src: ENJOY FUKUI)

英語版

簡体字版

繁体字版

すでに
福井県観光情報アプリを
誰でも作れる状態！
しかも多言語で！

恐竜でフィルタリングしたデータ

ふくいドットコム 恐竜スポットマップ

https://code4fukui.github.io/fukui-spot/#dinosaur

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

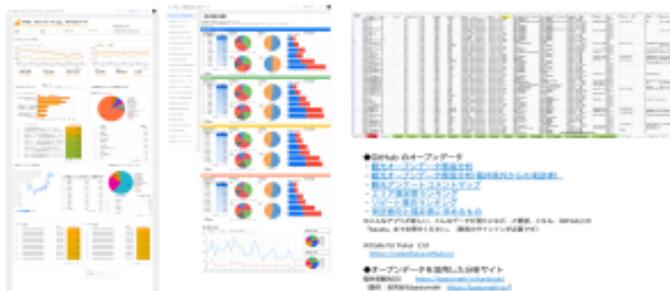
データ活用 - 1

<利用し易いように>

■ FTASにマーケティングデータ集積

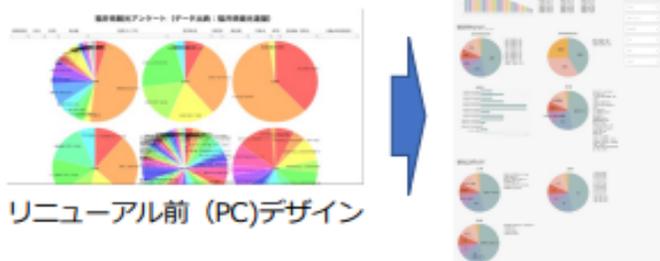
福井県観光データ分析システム
「FTAS (エフタス)」
(FUKUI Tourists data Analyzing System)

- 1) 「ふくいドットコム」アクセスデータ
- 2) 主要観光地人流データ
- 3) HAPPINESSキャンペーンアンケートデータ
- 4) Code for FUKUI の協力のもとオープンデータ化



■ アプリのUI改善

動線含めてより使いやすいように



<利用を増やす取り組み>

■ 行政やプレイヤー向け勉強会の開催

データを活用できる人材を育成し観光地改善を進めるとともに、ターゲティングに刺さる商品開発やタイムリーな情報発信の支援のための説明会を実施。



また普段の行政や観光プレイヤー向け支援活動中で常時活用している。



■ コンサルティング事業者との連携

福井銀行 (C&C) など

観光プレイヤー自身がデータを分析する知識も少なく、また分析時間もない。よって、コンサルティング事業者に、コンサルティングツールとしての活用を働きかけ、勉強会を実施するなどしている。



福井県産業支援センター
 「よろず」支援拠点



福井県まちづくりセンター

<人材育成>

■ 高校生向けシビックテック入門



将来的なDX人材の育成をおこない、裾野を広げるためにアイデアソンを実施。

概要

テーマ：シビックテック入門<データ分析編>

開催日時：2023/1/7 10:00-18:00

対象：福井県内の高校生、高専生

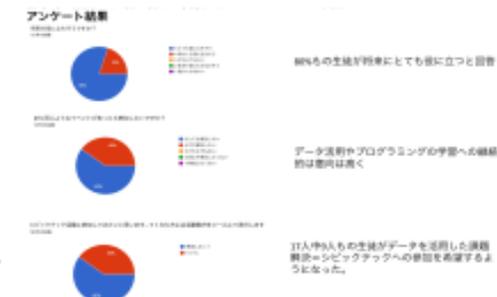
主催：福井県観光DVコンソーシアム

参加人数：17人

出身高校：8校（金津、鯖江、羽水、北陸、敦賀、若狭、藤島、福井商業）

場所：福井銀行本店

その他：教育委員会、教師の聴講、メディア（福井新聞）からの取材あり。



(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

データ活用 -2

<観光プレイヤーの取り組み例>

№	観光地・商品名	開発・改善の内容	活用したマーケティング・データ	開発・改善による効果
1	三方五湖エリア 「レインボーライン、年輪博物館、 レイククルーズ 等」	・観光地整備 対象エリアの駐車場の混雑状況 を可視化（ライブカメラ）	・観光地の満足度 ・フリーコメント	・秋（9、10月）に実証的に三方五湖エ リアの駐車場混雑状況を配信。観光地 周遊を促進。
2	明城ファーム	・商品造成 福井駅前のいちご狩りコンテン ツ開発	・福井駅の属性、同行者 ・フリーコメント（駅前滞在コンテン ツの不足等）	・福井駅前のビル屋上でイチゴ狩りコン テンツ開発（R5.2イベント）。稼 働式とすることで空きビル有効活用モ デルとなる。
3	三方五湖DMO	・人材育成 現地の体験ガイドスタッフ育成 に注力。	・観光地の満足度 ・フリーコメント	・秋（9、10月）体験アクティビティ予 約数が20%向上（前年同月比）、満 足度向上（口コミ評価4.8）。
4	勝山市観光まちづくり(株)	・商品開発、PR戦略 農産物・恐竜商品・伝統工芸等、 商品開発にデータ活用。仕入れ の調整。	・周辺観光地のデータ ・来訪者属性×満足度 ・月毎の入込で仕入れタイミングを 調整	・秋季売店（スーベニア）売上がコロナ 前と比較し130%増（6-10月）。また、 独自の恐竜商品ブランドを検討中。
5	(株)デキタ「八百熊川 (やおくまがわ)」	・広報PR、土産品開発 来訪者が多いエリア順に、イン スタ広告配信。 葛マスタード等、データを参考 にしながら商品開発。	・来訪者属性 ・年齢と所得のクロス集計	・八百熊川の客室稼働率が9月は37.5%、 PRを行った10月は50%を超え、 12.5%の増加となった。
6	県内の道の駅	・観光地整備 トイレの清掃、ゴミ箱の設置、 料理の改善・迅速な提供	・観光地の満足度 ・フリーコメント（毎週内容を周 知）	・観光地の満足度が上昇 ・リピーターの増加傾向
7	越前町観光連盟	・ツアー商品造成 他のエリアとの連携商品を検討	・周辺観光客の入込 ・観光地前後の動線 ・属性（年配層）×フリーコメント のクロス集計	・越前焼を扱っていた「一乗谷朝倉氏遺 跡」「大野城」と連携したツアーを校 討。
8	越前そばの里	・観光地整備 周辺観光地のPR 待ち時間解消のための取り組み を検討	・周辺観光客の入込（PRポイント選 定） ・満足度×フリーコメントのクロス 集計（待ち時間）	・PRにより一乗谷朝倉氏遺跡博物館等へ のお土産（卸し）の9-10月の売上 200%以上増（前年同期比）。 ・WEB上で順番受付を出来るAirウエイ トの導入を検討中。
9	福井市おもてなし観光推進課	・観光施策 周遊バス（二次交通対策）や市 内に宿泊させるためのキャン ペーンを検討	・議会の特別委員会にアンケート データを提示 ・前後の動線 等	・予算要求に周遊バスや市内宿泊キャン ペーンを検討。また京福バスにも福井 ⇄一乗谷の需要を提示し引き続き運行 を依頼。

<コメントを基に改善提案>

- ・バス停の位置が、案内パンフレットと違う
- ・滑り台に突起物があって危ない
- ・駐車場の強引な呼び込みが不愉快
など

<満足度/推奨意向をもとにHP編成>

- ・福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」
トップ画面表示コンテンツ選定に利用
- ・ランキングをオープンにしたことで競争意識が芽生えた
など

<行政活動としても活用>

- ・議会の質問対応
- ・来年度の事業立案の基礎データ
- ・DMO申請時の基礎データ

**オープンなデータを基に、
+のスパイラルが動き始めている**

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

データ活用による「稼ぐ観光」の実証事業 ②

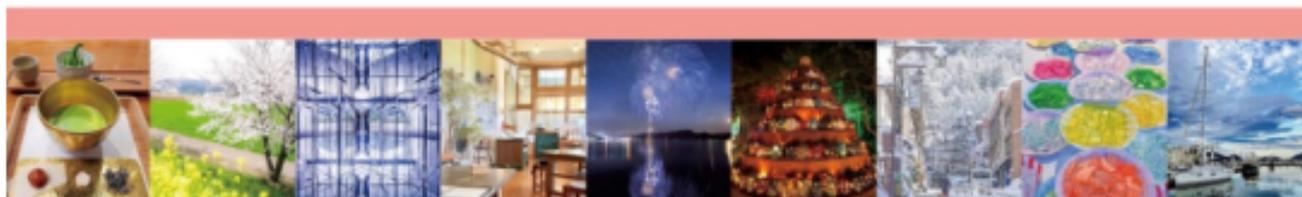
データを活用した集客ポイント造成の実証事業



Instagram フォトコンテスト # 私の好きな福井県 2022

「私の好きな福井県」をテーマに、福井県内で撮影した風景・グルメ・体験等の写真を応募してください。
「行ってみたい!」と思ってもらえるような素敵な写真をお持ちしています。抽選で福井県ならではの景品をプレゼントします。

春 夏 2022.4.20 wed ▶ 8.31 wed 秋 冬 9.1 thu ▶ 2023.1.31 tue



福井県観光連盟主催のInstagramキャンペーン

<実証事業の概要>

福井県観光連盟が主催するプロモーション活動「# 私の好きな福井県2022」を数値的に可視化するとともに関連する口コミデータなどを基に、新たな観光地開発や既存観光地の磨き上げを行う実証事業

<実証事業のKPI>

・新たなインスタ映えスポット造成/既存のインスタ映えスポットの磨き上げ 10箇所

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

実証事業内容

<データ収集>

福井県観光連盟が主催するInstagramでの投稿キャンペーンの、InstagramのUGC(ユーザーコンテンツ)を収集し、いいね数やシェア数などを地点ごとに数値的に可視化。加えて地点ごとのGoogleビジネスのレビュー情報を収集を行う。

<データ連携>

Instagram・Googleレビュー情報を連携

<データ活用>

1. 収集した情報を基に、スポットを地図上に可視化するなどして、それらスポットの撮影場所の解析・分析を行うことで、新たなインスタ映えスポットの開発を行うとともに、既存のインスタ映えスポットの磨き上げを、県内市町観光協会やDMOなどへ提案を行っていく。
2. 収集した情報を、FTASに付加情報として可視化していくことで、新たな商品開発や、既存商品の磨き上げに活用していく。

実証事業の目標と概要（1） - 私が好きな福井県2022春夏

<ネット上の投稿データの収集／分析>

キャンペーン全体で約14,000件のユーザー投稿を収集
投稿の傾向・市町村・主要観光スポットの分析を実施

収集した投稿の中から人気の投稿スポット、選定した12の磨き上げ
スポット別に傾向を分析。その他ハッシュタグにて絞り込みを行い
市町村毎の投稿分析や人気のハッシュタグ毎の分析を実施。
月毎のハッシュタグランキングレポートによる動向把握や試験的なAIに
よる画像解析なども合わせて実施した。

<日別のハッシュタグ数をオープンデータ化>

収集したユーザー投稿に付随されているハッシュタグを集計
・出力。出力したデータをオープンデータとして公開

日別のハッシュタグ数を分析することで、季節的なニーズやスポット、
ユーザーの関心の上がり下がり等を伺いしることが可能に。
県内事業者や観光協会の今後の投稿キャンペーン施策立案の際の情報と
して活用が可能。

Code for Fukuiによって、グラフ化・オープンデータ化を行う。
<https://code4fukui.github.io/fukui-kanko-hashtag/>

<分析の報告とディスカッション>

福井県観光連盟の立場としてどのような分析が必要かを検討

福井県観光連盟のご担当者である佐竹さんにフィードバックを頂きながら
観光連盟として知りたい情報や内容をレポートとして作成を進めました。
技術的に知り得ることが可能な情報から、ニーズはあるが技術的に
知り得ることができない情報を課題点としてキャッチ。
そういった点も踏まえ、福井県観光連盟 専務理事の坪田様に報告を
実施させていただきました。

<分析の満足度>

満足度は、10.0 を獲得 ※10点満点中

投稿等の状況が具体的かつ詳細に分析され、今後の検討の方向性に対する示唆が
十分にあった。また、他県の先進事例など、実際の検討に役立つ情報が豊富に得
られた。

また今回の分析報告は、事業を展開していくうえで予算化の検討に値する内容で
したか？という質問に対して、「はい」のご回答。来年度のフォトコンテストの
実施に当たり、今回の分析の成果を活かすよう、一部見直しを図るとともに、北
陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、実際の観光周遊につながる仕掛けについて、
予算化を検討したい。とのコメントを頂きました。

（出典元）令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料）



実証事業の目標と概要（2）12の個別ロケーション

<分析する集客ポイントの選定>

福井県観光連盟と観光協会・DMO・各機関に協力を仰ぎ
下記の12のロケーションと観光連盟主宰のInstagram投稿
キャンペーンを分析対象として選定

選定した12の個別ロケーション

東尋坊 / 芦湯 / レインボーライン / 越前大仏 / 道の駅 恐竜溪谷かつやま
福井県立恐竜博物館 / スキージャム勝山 / 芝政ワールド
若狭フィッシャーマンズワーフ / 武家屋敷旧田村家
道の駅 越前 / 福井駅西口広場

<ネット上の投稿データの収集／分析>

独自ツール・AIソリューションを活用することで
高効率な収集・分析を実現

GoogleレビューとInstagram投稿を収集

SNS情報の収集には、福井県おおい町に本社を構える
グローバル企業（外資と国内のジョイント・ベンチャー）である
Embedsocial Japan株式会社のEmbedSocialシステムを使用し収集し
分析には自社開発のAI言語解析システムを活用することで
従来人力では多くの時間が必要であった分析作業を短時間で実現

<分析の報告とディスカッション>

わかりやすく、理解しやすいレポート作成を意識

現状のユーザーニーズの分析や理解から入り、課題点や問題点、改善案を
提起。他観光地や事業者の事例をピックアップし、観光地の磨き上げやインスタ
グラムスポット磨き上げのアイデアをレポートしてとりまとめた。
もう一つの目的である、口コミ情報の重要性や、口コミ情報や投稿情報を
分析し、磨き上げに活かしていくという一連のワークフローの考え方についても
同時に共有することができた。

<分析の満足度>

満足度は、8.3 を獲得 ※10点満点 全17回答の平均

かなり具体的な話も多く、非常に有益な情報だった。

観光誘客において、新たなコンセプトやターゲットの絞り込みが必要だとい
うこと、また今までにない発想で、新規観光客およびリピーターを創出するた
めに重要だということが理解できた。

何をすべきで何をすべきでないかが明確になった。

*コメントを一部抜粋

（出典元）令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料）



分析レポート例) 東尋坊

GoogleレビューとInstagram投稿を収集し、現状のユーザーニーズの分析や理解から入り、課題点や問題点、改善案を提起。他観光地や事業者の事例をピックアップし、観光地の磨き上げやインスタグラムスポット磨き上げのアイデアをレポートしてとりまとめた。

The report consists of 50 numbered pages. The thumbnails show various elements:

- Pages 1-7: Introduction and overview maps.
- Pages 8-21: Detailed text analysis and data points.
- Pages 22-28: A table titled '観光地・事業者の課題' (Tourist spots and business challenges) with columns for '課題' (Issues) and '改善案' (Improvement proposals).
- Pages 29-35: A word cloud titled '観光地・事業者の課題' (Tourist spots and business challenges) with prominent terms like '#福井観光' and '#福井県'.
- Pages 36-42: A section titled '企業・観光業-ワンハンドフード' (Company/Tourism Industry - One-hand food) featuring images of food products.
- Pages 43-49: A section titled '企業・観光業-ペットツーリズム' (Company/Tourism Industry - Pet tourism) featuring images of dogs and cats.
- Page 50: A final summary or conclusion page.

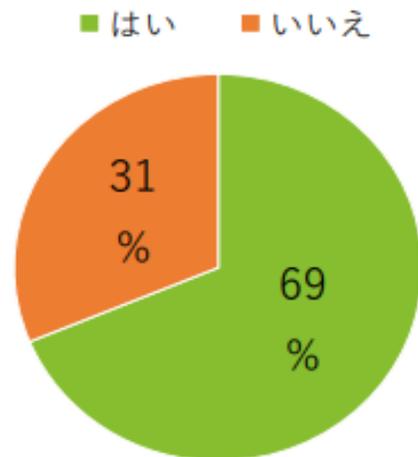
(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

目標に対する結果・今後の課題 / ファインディングスなど

<目標に対する結果>

	目標	実績
新たなインスタ映えスポット造成/既存のインスタ映えスポットの磨き上げの提案数	10	12

今回の口(くち)コミ分析報告は、事業を展開していくうえで予算化の検討に値する内容でしたか？



ご回答いただいた具体案： *一部抜粋

- ・ペットカフェ、夕日に関するコンテンツの提供等。
- ・クチコミを増やすための施策、テーブルの上にアンケートQR設置等。
- ・動画作成やホームページの改修
- ・トイレ等の衛生面の改善と写真スポットの設置

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

<今後の課題・ファインディングス>

多くのケースでは、課題点・問題点については、現場担当者レベルで既に把握している点が多いものの、改善に必要な予算稟議や申請においての課題が多く、改善に至っていないケースが見受けられた。

稼ぐ観光を実現するためには、スピーディーに課題・問題を改善しユーザーニーズを取り込む枠組が必要であり、そういった現場担当者の決済権や使用できる予算枠を設けるという枠組が必要ではないかと考えられる。

また稟議を進め、予算使用に対する責任所在を組織全体として分散するのではなく、現場責任者や担当者が自身の責任の範囲で予算を使用するという枠組は、予算使用に対するコミットメントと結果を求める姿勢に繋がり、結果的には良い循環が生まれると考えられる。

次の課題として、本年提起した課題・問題点・新施策を実行・改善した結果を再度分析・評価を行う継続的な取り組みや、観光協会やDMOから各事業者への広がりをもどのように創出するかが課題点である共に、可能性をより確実なこととして掴んでいくことに繋がると考えられる。

データ活用による「稼ぐ観光」の実証事業③

RENEWをフィールドとした実証事業



日本最大級のオープンファクトリーイベント

<実証事業の概要>

延べ3万人を集客する「RENEW」を舞台に、アプリなどを活用して観光関連データ収集による観光の実態把握を展開。それらデータを解析しRENEW参加事業者の商品開発、販売促進などのサポートを行い、事業者の収益拡大におけるデータの有用性を実証実験するとともに、データを基にしたキャッシュポイント造成のモデルケースづくりを行う。

<実証事業のKPI>

- ・RENEW参加事業者の新商品開発提案数 3
- ・RENEW参加事業者の新たな販売促進企画の立案数 3

実証事業内容

<データ収集>

仮) 県民アプリを活用したプレミアム付きクーポンを発行する「RENEW プレミアムキャンペーン(仮)」展開等によるデータ形成

- ・プレミアム付きデジタル商品券発行による消費データ形成

- ・移動情報データ形成

- ・オンラインプロモーション活動から得られる関連データの形成

別途、全県的に展開しているアンケート型プレゼントキャンペーン

「HAPPINESSキャンペーン」で得られたアンケートデータのオープンデータ化

<データ連携>

県民アプリで得られたデータの一部を、API接続によってデータEX機能を通してオープンデータ化し、アンケートデータなどとの突合などで、より有益なマーケティングデータを形成していく

<データ活用>

収集が可能な様々なデータソース(アンケート・GPS・人流・消費・HPアクセス・予約・SNSデータ・AIカメラ・ネット広告等のパフォーマンスデータ・Yahooなどのビックデータ・キャンペーン施策の結果データなど)を基に、「RENEWエリア」における現在ニーズの解析、ユーザー評価の解析、データソースが、どのような相関関係を持っているかの解析・検証を実施し、各データソースやニーズ・評価が集客にどのような影響を及ぼすかを検証し、集客予測モデルを設計・定義する。

これらのもとに、RENEW出展事業者の中から数社の事業者を選出し、事業者毎に特化したリサーチデータを作成し、事業者に対して事業支援・DX支援等を実施する。市場ニーズの共有・ユーザー評価の共有・数値データの共有を行い、事業者への理解を深め、必要となるDX施策や導入支援、マーケティング・コンサルティング等を実施。

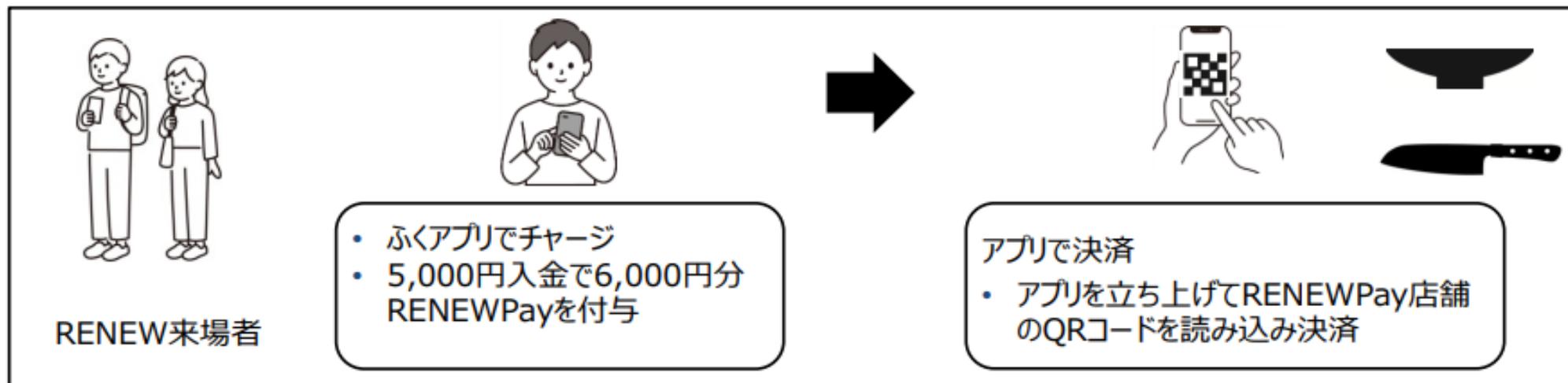
21

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

データ収集のための RENEW Pay

<実証事業の概要>

『RENEW Pay』 = RENEW参加店舗で使用できるデジタル地域通貨



<RENEW Pay実施目的>

- ① デジタル地域通貨 (RENEW Pay) を通して地域の決済データを形成していく
 - 収集可能なデータ⇒決済日時/決済場所/決済金額/性別/年代/住所/電話番号/メールアドレス
 - ② 消費拡大
 - プレミアム商品券の企画により、RENEWのイベント全体の消費を喚起
- RENEW Payが利用可能なお店：64ヶ所
RENEW Payチャージ実績：総額約600万円分

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

データ収集のための RENEWPay

<RENEW期間中（10/7～9）RENEWPay実績>

RENEWPay	全体	女性	男性	県内	県外
決済回数	1,408回	855回	498回	724回	684回
平均決済額	3,470円	3,162円	3,858円	3,712円	3,213円
合計決済額	4,886千円	2,704千円	1,921千円	2,687千円	2,198千円
利用者数	479人	280人	182人	281人	198人

- 利用者の41%が県外居住者 ⇒ 目的が明確であれば県外ユーザーも地域アプリを活用
- 県内・県外在住者のイベント内の消費行動の違い（例：県内在住者は飲食関係の決済が多い）
- 男女での決済額の違い（例：男性は1回あたりの決済額が大きく、高額商品を購入する機会が多い）
- 県外在住者の地域別の消費額（東京→愛知→大阪→石川→兵庫→富山→神奈川→京都・・・の順）



RENEWPayで収集した決済データについては地域にオープンデータとして提供

<今後の課題（ファインディングス）>

観光において重要視される移動データの形成・収集

→今回取得した決済データにおいて、決済場所＋決済時間をつなぎ合わせれば、移動データの形成が可能ではないか（今後他事業も含めて有用性を検証していく）

（出典元）令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料）

RENEW参加事業者へのデータを元にした稼ぐ観光に資する新商品開発提案

<データの収集と分析>

RENEW参加事業者3社にて、
AIカメラによる来場者測定・ネット広告結果データ・POSデータ
RENEW Pay決済データ・HAPPINESSアンケートデータを
横断して収集・分析を実施

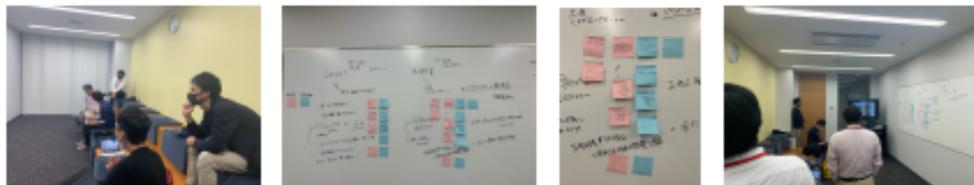
SAVA!
STORE
FUKUI GOOD PRODUCTS

漆
琳
堂



暮らしに溶け込む和紙

新商品開発提案時における企画の裏付けとなる、データ収集・分析を実施。



ネット広告結果を分析することで、自社のターゲット属性（年代・性別・居住地）を把握。AIカメラによる来場者測定においても、実際に店舗に訪れた顧客の属性を分析することで、より深くイベント開催時における自社の状況を把握することが可能に。

POSデータの分析においては、単品分析や価格帯分析を実施することで、どのような価格帯のどのような商品が売れ筋かを把握。POSデータだけでは取得できない顧客属性については、RENEW Payの決済情報と照らし合わせることで一部のデータについては、顧客属性や顧客動向を分析することが可能となった。

上記分析結果から導き出された事業者の現在の販売情報や顧客動向を元に新商品開発や販売促進企画についての提案を実施した。

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

<分析の報告とディスカッション>

データのつながりや分析結果・一連のフローをわかりやすく説明

新商品開発や販売促進企画についての提案を実施するに辺り、その根拠となるデータの分析結果・裏付けを説明することで、事業者側の理解を深め、より具体的な進行可能案として提起することができた。HAPPINESSアンケートデータにて、周辺来訪客分析も含めて一連のフローの説明を進め、理解を深める事でデータ活用の重要性和可能性について、事業者側に共有することができた。

<分析の満足度>

満足度は、8.7 を獲得 ※10点満点 全3社の平均

今まで数字を出して読み解くことが少なかったため、とても参考になった。

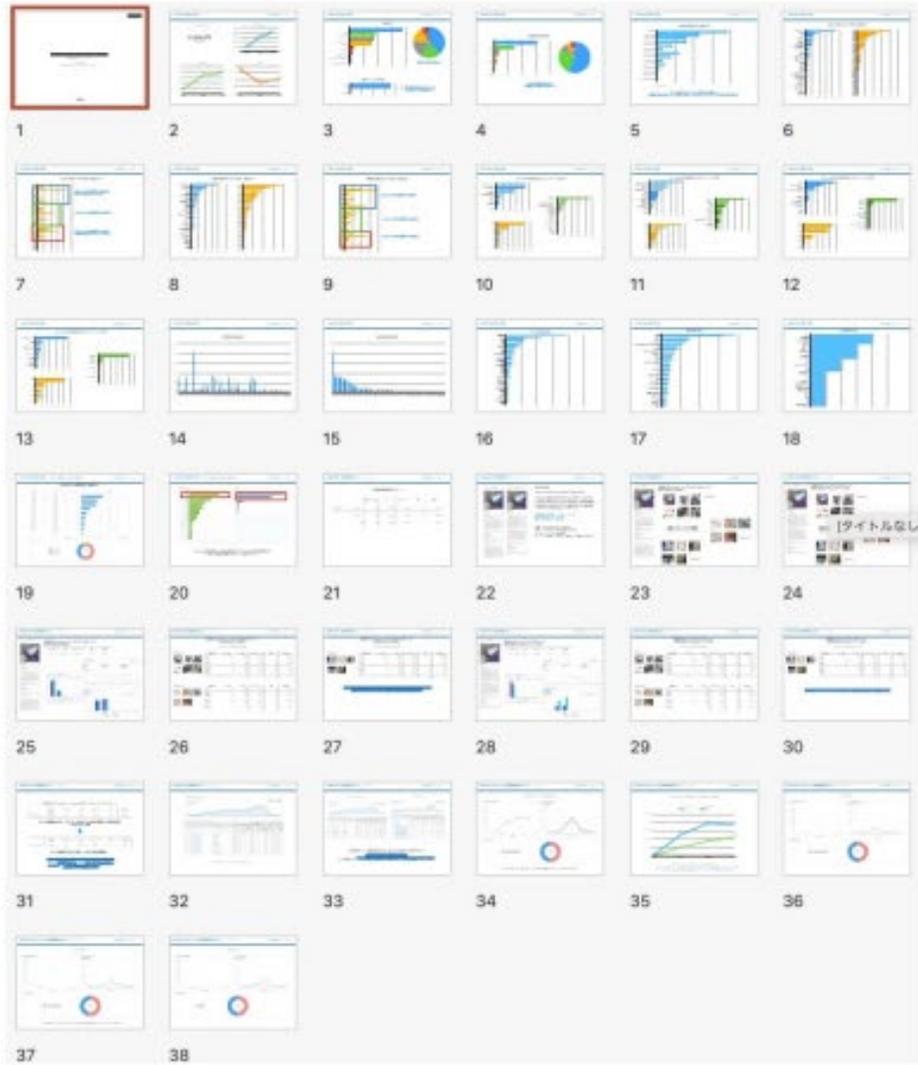
*コメントを一部抜粋

<分析の役立ち度>

役立ち度は、8.3 を獲得 ※10点満点 全3社の平均

*上記報告は御社の事業に今後役立ちそうですか?という質問に対して

分析レポート例) SAVA!STORE



(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

目標に対する結果・今後の課題 / ファインディングスなど

<目標に対する結果>

	目標	実績
実証事業によるRENEW参加事業者の 新商品開発提案数	3	3
実証事業によるRENEW参加事業者の 新たな販売促進企画の立案数	3	3

今回ご提案の新商品企画（アイデア）で導入してみたいと思ったものを
あれば教えてくださいという質問に対して:

- ・ お得セット
- ・ 割烹用(蓋付き、高価格帯)を一般向けに落とし込んだ商品(在庫を持つ)
- ・ 低価格帯の商品を増やす 今回のRENEWの結果を経て低価格帯（1000～1500円）の商品の購入比率が高かったため、来年度までにもう少し他府県から来た記念やお土産として買って帰りやすいような商品を増やしたいです。併せて、お客様が価格帯で選びやすいレイアウトも検討しようと思われました。

<今後の課題・ファインディングス>

技術的な側面では、AIカメラでの来店者属性測定はマスク着用等の影響により測定される年齢に誤差が生じる可能性が高い。設置場所や運用状況により重複カウントが見られた。AIカメラの更なる精度向上と運用時の設置場所や運用方法の最適化が必要だという事が課題点として発見できた。

事業者が導入するPOSシステムにおいては、運用時の設定（カテゴリ設定や単品商品登録）において、データ分析を念頭に最適化した設定を行う事でより詳細なデータ分析が行えるのではないかと考えられる。

今後の課題・ファインディングスとしては、今回の実証事業ではデータ活用やその方法についての理解が進んだことから、継続的に事業者をバックアップし伴走する枠組や、この取組や枠組を地域全体に広げていくことで、地域の事業者全体の「稼ぐ力」を強化していくことが可能になるのではないかと考えられる。

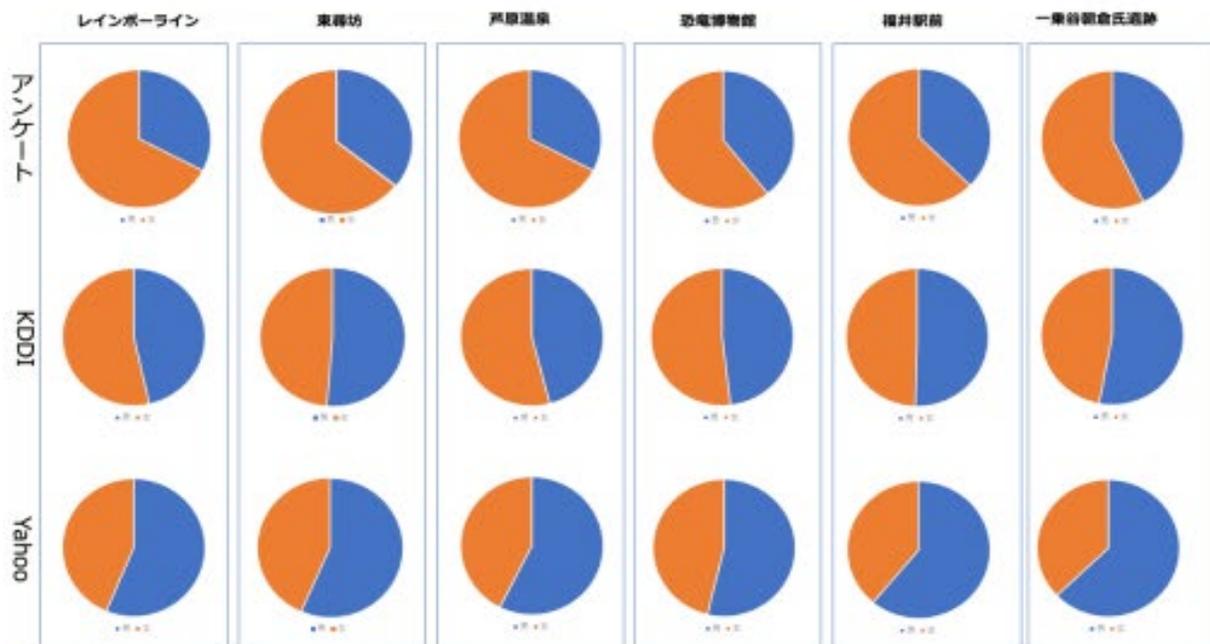
(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)



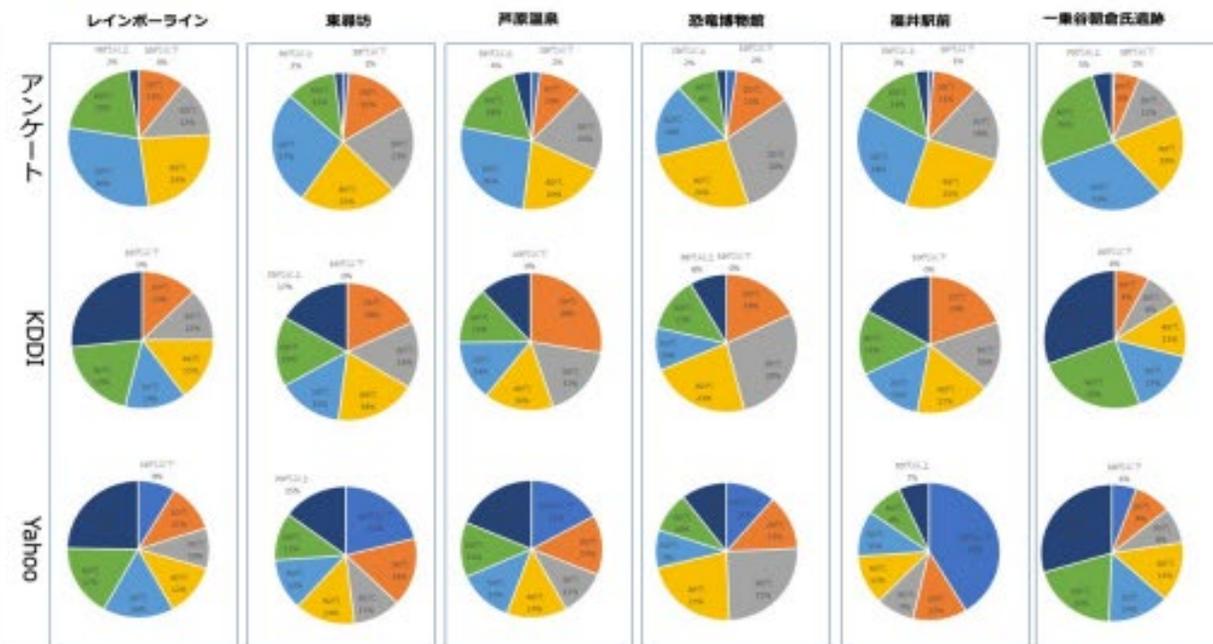
データの検証 - 2 性年代データ

<データソースによる違いを分析> HAPPINESSアンケート : KDDI Location Analyzer : Yahoo! データソリューション

男女比の比較



年代の比較



データソースによって、性年代とも違いが大きく存在



観光地で、センサー技術等を活用した実数（実態）把握の仕組みが必要

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業 「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

<データ関連>

1) 観光実態把握のためのデータ収集の課題

- ・観光実態把握には、実績データの収集が必要（ログデータは偏る）
- ・そもそも観光の実態を把握するためのデータが少ない
- ・実態を表すデータであるかの検証が必要

2) オープンデータ化の課題

- ・個人特定がされないように
継続してオープン化していくデータの検証が必要
- ・企業のセキュリティーポリシーやルールの課題

3) データ活用についての課題

- ・実地の中でトライ&エラーを継続して繰り返していくこと必要
- ・AIを活用した需要予測には、更なる基データの検証が必要

<運用関連>

4) 継続性の課題

- ・ハッシュ化プログラムの運用と管理を行う主体が必要
- ・共助のビジネスモデルを確立していく必要がある
※企業でいうバックオフィス部門（統計や調査、リサーチ部門）のため

5) DX人材の確保と育成の課題

- ・エンジニア、デザイナー、データアナリストの存在
- ・データを活用したPDCAを回せる人材育成

今後も**シビックテック**の力（ちから）が必要

（出典元）令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料）

観光庁

「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」採択事業

「観光実態把握とマーケティングモデルケース造成事業」について

R5年度 観光庁実証事業概要

観光実態把握とマーケティングモデルケース造成事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

令和4年度の実証事業では、福井県の来訪者に対してアンケート調査等を実施し、データの収集・分析を行った。これらのマーケティングデータは、福井県観光データ分析システム「FTAS」で公開するとともに、地域における実証事業に取り組むことで、「データの見える化」を実現した。

令和4年度の実証事業を通じて、地域におけるデータ活用を推進するためには、消費実態を把握するためのデータの不足、データ活用ができる人材不足という課題が認識された。

今年度の事業では、エリアPMSを構築し、消費実態を把握するためのデータ収集を行い、FTASにてデータを可視化する。地域におけるデータ活用を促進するために、FTASを活用し、複数のモデルケース造成と、地域におけるデジタルマーケティング人材の育成に取り組む。

観光事業者がより高度なマーケティング活動を行い、効果測定を繰り返しながら、「稼ぐ観光地づくり」を推進する。

事業概要

県内のエリア単位や業種別の事業者単位でFTASのデータを活用したマーケティング活動に取り組み、「観光地経営の高度化」「観光事業者の生産性向上」におけるモデルケースの造成を行う。モデルケース等を通じて地域のデータ活用促進を推進する。

目標

福井県内の観光施策立案に携わる行政職員および県内でモノ・サービスを提供する観光事業者等の観光プレイヤーが、データを活用した取り組みを通じて、売上の最大化やコスト削減を実現する。

実証内容

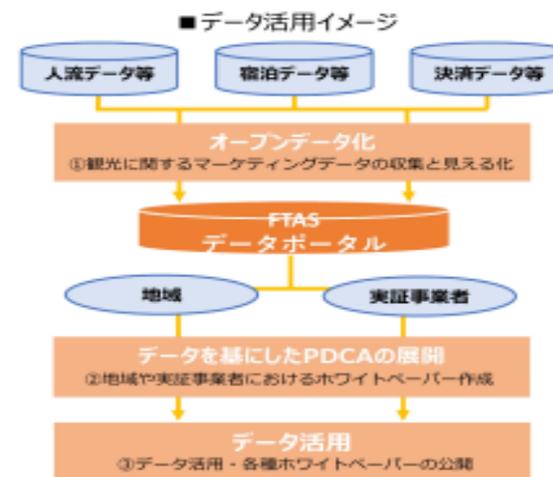
観光実態を把握する上で不足している宿泊等の消費実態に関するデータの収集
収集したデータの連携・分析による観光実態の可視化およびオープンデータ化
県内複数地域におけるデータを活用したマーケティング活動の
モデルケースの造成

目標値

KGI FTASユニークユーザー数：3,000人

KPI 新規オープンデータセット数：6個

ホワイトペーパー数：9個（地域:2テーマ+事業者:7テーマ）



取組エリア：福井県 コンソーシアム名：福井県観光DX推進マーケティングデータコンソーシアム（代表事業者：ふくいヒトモノデザイン株式会社）

（出典元）観光庁観光DX公式WEBサイト掲載資料

各宿泊施設、エリア全体が、稼ぐ観光を実現するために

宿泊施設のPMSデータを収集して、エリア全体の
宿泊実態（OCC、ADR、レヴパー）と予約状況を、見える化

客室稼働率（OCC） = 宿泊利用された客室数 ÷ 販売可能な客室数

客室平均単価（ADR） = 売り上げ合計額 ÷ 販売客室数

RevPAR（レヴパー） = 客室稼働率（OCC） × 客室平均単価（ADR）

PMSデータ蓄積による効果

■ 宿泊施設エリア全体の実績、季節性、予約状況などを把握

- ▶ 季節ごとターゲットに合わせた、体験コンテンツ開発や販促企画の立案ができる
- ▶ 宿泊施設エリア全体のPRプラン（ターゲット、タイミングなど）を計画できる

■ 過去のデータが集まれば集まるほど、集客予測の高度化（AIによる精度向上） ※将来的な展開

- ▶ 先々の予約状況に合わせて、仕入れのコントロールが出来て収益力の向上に繋がられる
- ▶ また、宿泊施設周辺事業者、関連事業者の収益力向上に繋がられる



宿泊施設エリアだけでなく、福井県全体でのコンテンツ開発、プロモーション企画にも活かせる

〔収集して行きたいデータセット〕

宿泊数、宿泊予約数、1人単価、部屋単価

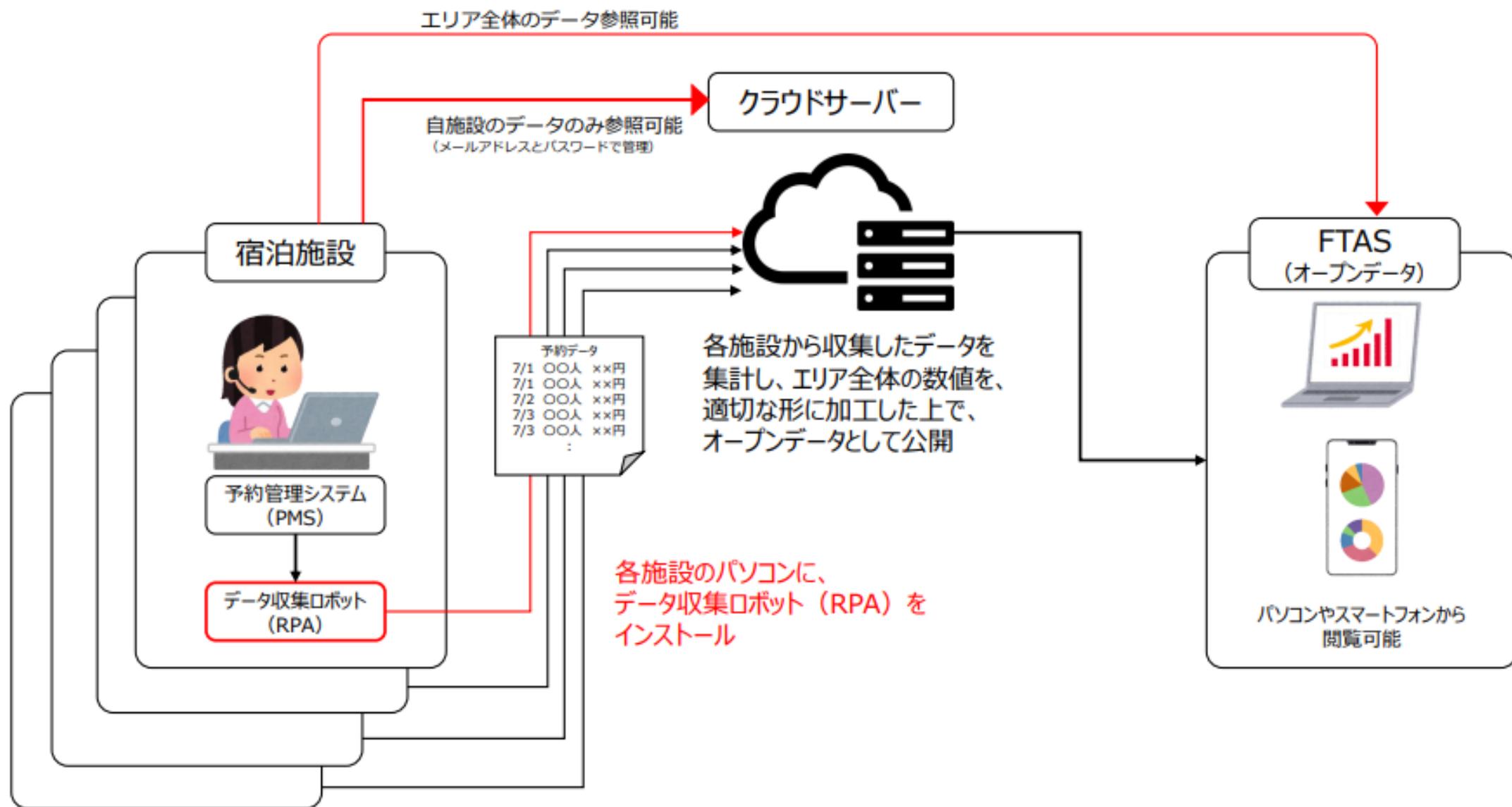
〔データの収集方法〕

PMSデータをデータ収集ロボット（RPA）を宿泊事業者のパソコンにインストール

〔オープンデータ化〕

収集データは統計的にオープンデータ化
※宿個別ではなく、複数宿データを合わせ全体の把握

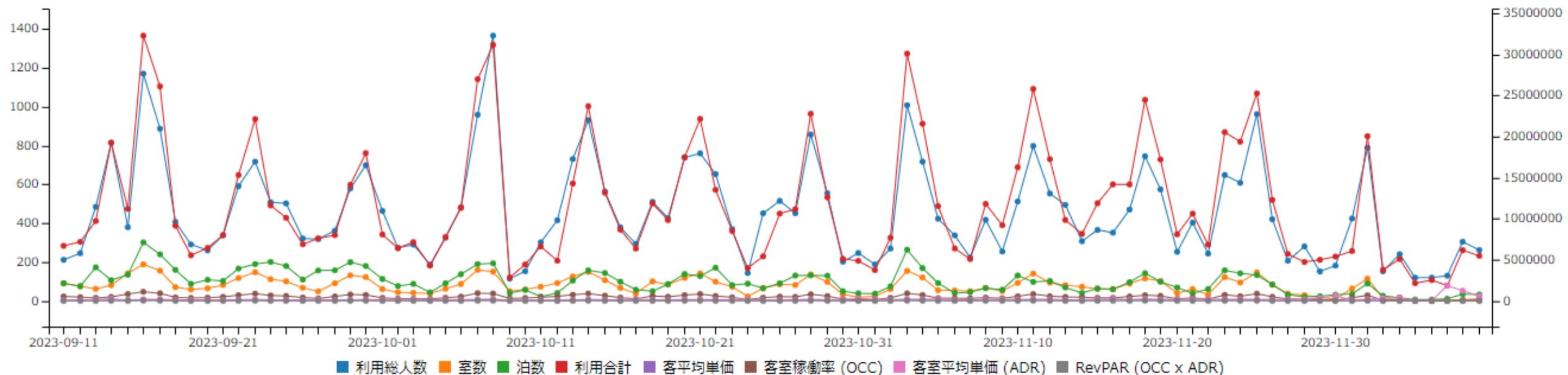
データ収集方法とデータ閲覧



導入のメリット

- 自施設の状況を、分かりやすいグラフ表示により、リアルタイムに傾向を直感的に把握できる
- 自社施設と、他施設の状況も含んだエリア全体の状況を比較して、対策を打つことができる
- エリア全体のデータをオープンデータ化することで、エリア全体で対策を打つことが可能に
- 数か月先の状況まで見られるため、前もって対策を講じることができる
- データ収集から集計・表示まで完全に自動処理。今回は実証事業の方でサポートを行うため、手間や費用はかからない。

あわら温泉エリア 宿泊予約状況（データ出典：福井県観光連盟）



福井県あわら温泉エリア、8つのホテル（総部屋数407）の予約状況を合算したオープンデータです。
「[CSVオープンデータダウンロード](#)」（2023-09-11現在）

客室稼働率 OCC = Occupancy Ratio = 予約客室数 / 総客室数

客室平均単価 ADR = Average Daily Rate = 販売額 / 予約客室数

RevPAR = Revenue Per Available Rooms = 販売額 / 総客室数 = OCC x ADR

[福井県AI観光アドバイス - あわら湯のまち エリア](#)

[福井県観光アンケートオープンデータ活用アプリ](#)

リアルタイムな入込数把握のためデータ収集

〔人流センサー設置のメリット〕

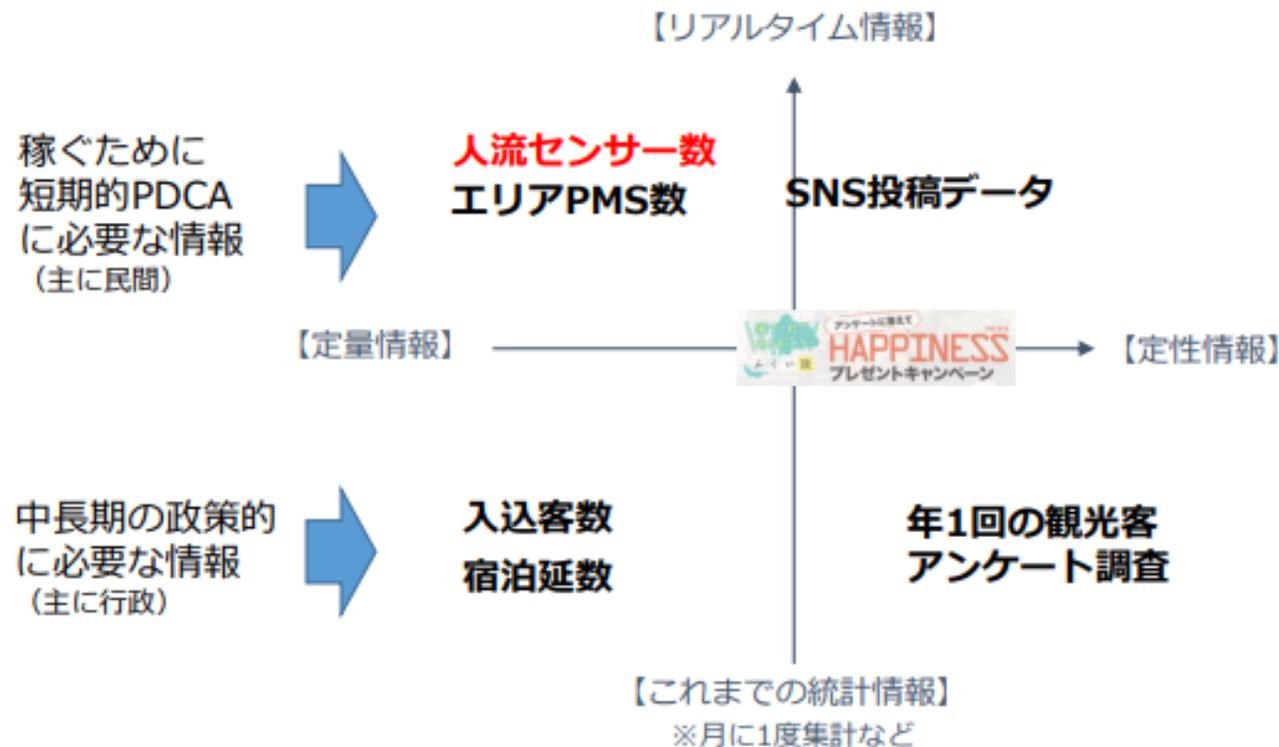
- ・ 5分単位で設置場所での人流の把握
- ・ インターネット上で、どこからでも確認可能
- ・ 集計作業の軽減（人件費削減）
- ・ 実証事業として無料で設置可能

〔データの蓄積による可能性〕

- ・ プロモーション施策の立案
- ・ 入り込み予測（将来的に）

〔その他〕 エリア、県域でのプロモーション立案に活用

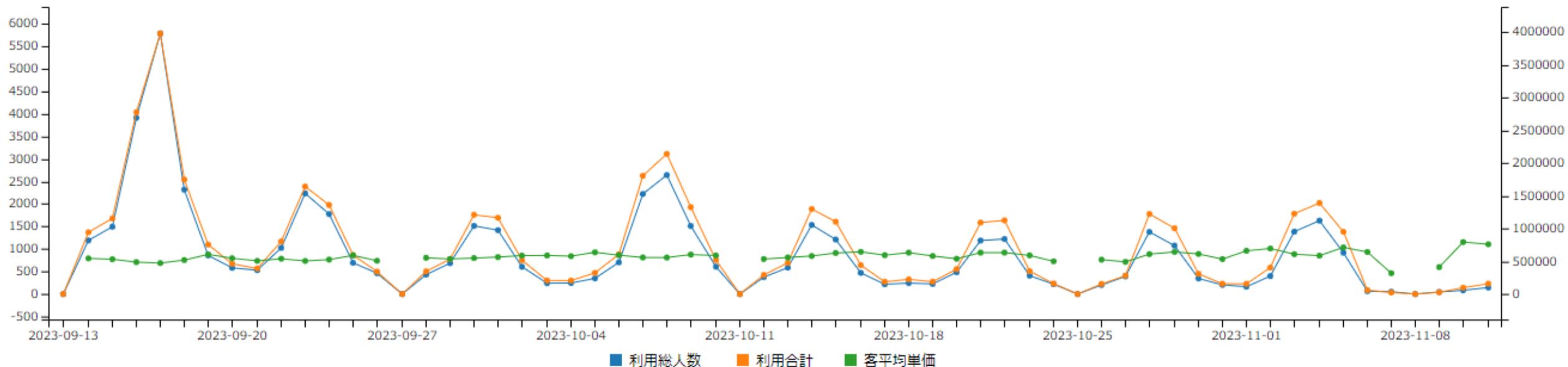
〔収集するデータの位置づけ〕



恐竜博物館の予約状況

60日先までの予約状況（人数、金額、平均単価）

※2023-09-13時点の事前予約数です。最終的な予約数や入館者数は異なります。



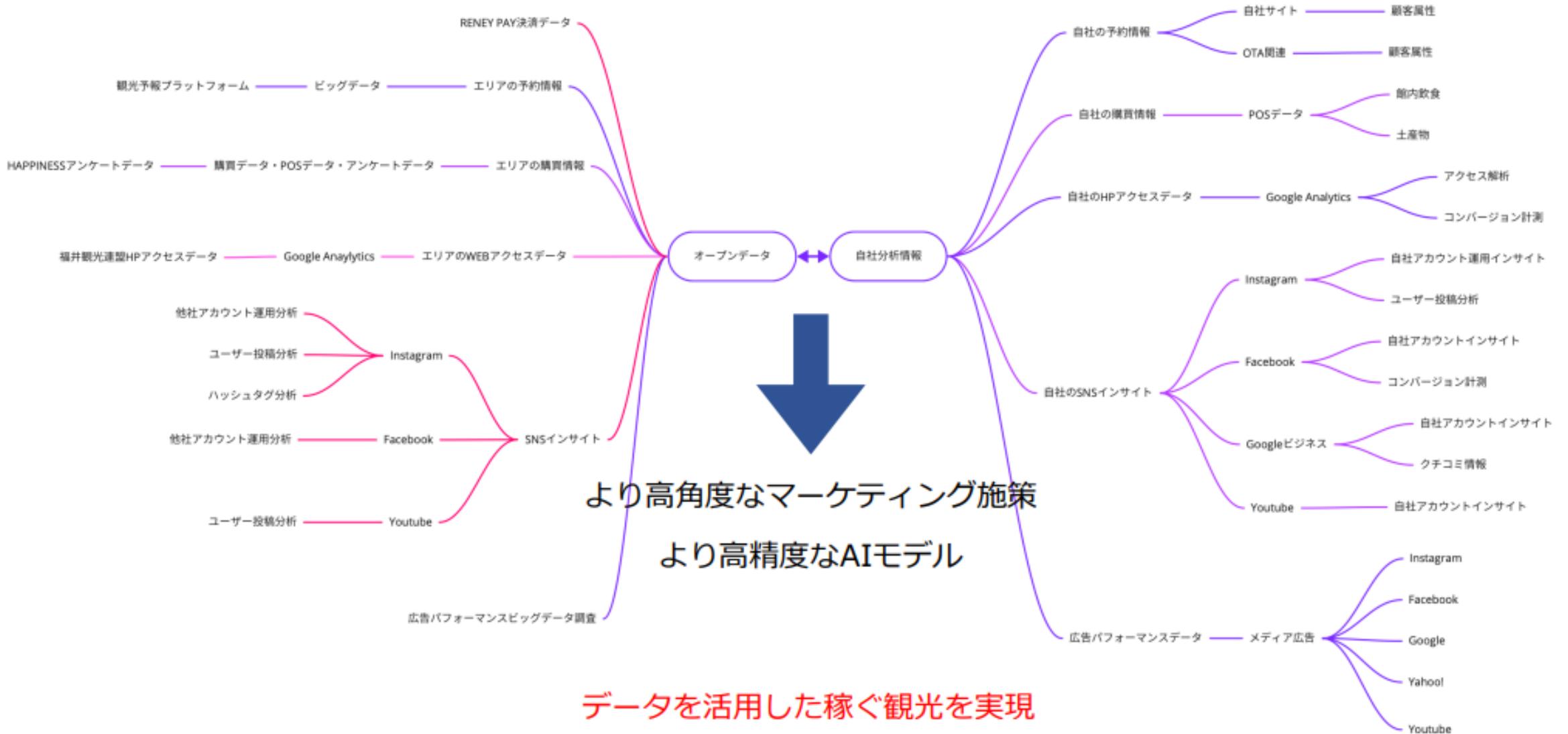
福井県立恐竜博物館の予約状況オープンデータです。

「[CSVオープンデータダウンロード](#)」（2023-09-13現在）

（[関連リンク](#)、[福井県AI観光アドバイス - 勝山市 / スーベニアショップ ラプトル エリア](#)、[福井県観光アンケートオープンデータ活用アプリ](#)）

（出典元）福井県観光データ分析システム「FTAS」掲載情報

オープンデータと自社分析情報の掛け合わせによるマーケティング施策



(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)

みんなで創る福井県観光

Code for Fukui

オープンデータ化
シビックテック

(現状や課題の見える化)



福井県観光データ分析システム
「FTAS (エフタス)」
(FUKUI Tourism data Analyzing System)

行政・地域DMO
観光プレイヤー

満足度の高い
観光コンテンツ開発
(モノ・コト)

観光客・県民
観光プレイヤー
アンケート協力
データ提供

観光連盟・広域DMO
PR、誘客、販促
コンテンツ開発支援

(出典元) 令和4年度観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」採択事業「観光データ連携機能構築による観光事業者の収益向上に向けた実証事業」成果報告会資料)



福井県内事業者等へのマーケティング支援により、顧客ニーズに合致する商品・サービスを提供していきます。